

「あらゆる場面に活用できる」「利用者の姿が見える」 介護記録の書き方研修

具体的な記録を用いた実践型のカリキュラム！現場で即活用できる

介護従事者の皆様におかれましては、日々行っている業務において、様々な記録を残されていることと存じます。

毎日の多忙な業務の中では、記録に十分な時間を割くことは困難であり、加えて業務と記録作業の繰り返しでもあるため、毎日同じような内容を記載してしまうなど、その日、その日の利用者の姿が見えてこない記録となりがちではないでしょうか。また、同じ内容でも職員によって書き方や内容に差が生じてしまうことに課題を感じているという声も耳にします。

利用者の見せる姿や表情、発する言葉は、状態変化への予測や多職種間の連携、モニタリング・アセスメントなどでも重要な情報となるものです。いつ、誰が読んでも、その時の利用者の姿や状況がわかる記録を残すことで、貴重な情報を必要な場面において活用することが可能となり、事故防止はもちろん、職員間の連携強化、サービスの質の向上にもつながっていきます。

本研修は、記録することの目的や、記載する基準を正しく理解し、何をどのように記録していくのか知識を、場面ごとに具体例を通して学ぶものです。この機会にご受講いただき、介護記録のさらなる充実と情報の活用にお役立ていただければ幸いです。

カリキュラム

- なぜ、何を、どのようにとらえ、記録していくのか。
- 事例を通して「している介護」を考え、記録内容の密度を高める。
- 再発防止につなげる「ヒヤリ・ハット」「事故報告書」の書き方
- 利用者の生活機能の維持向上を支える介護記録の残し方**

講師：佐藤 ちよみ 介護福祉士／介護支援専門員／東京都福祉サービス第三者評価者／対人援助スキルアップ研究所所長。特別養護老人ホーム、介護サービス事業所勤務を経て独立。2004年対人援助スキルアップ研究所を設立。サービス提供責任者や介護支援専門員のスキルアップ研修、対人援助技術講習、施設の新人研修等、各研修会講師や、交流分析インストラクターとして後進の指導・育成に力を注ぐ。著書：『図解でよくわかる介護記録の書き方・活かし方』、『ケアプラン 困ったときに開く本』等多数。

日 程 2019年 10月18日 9：40～16：40

受講料 11,000円

ネット配信サービス加入者は半額での受講可能！！

会 場 広島県健康福祉センター 広島市南区皆実町 1-6-29 市内電車 南区役所前徒歩3分

対 象 どなたでも受講可能

申込方法 ファックスでのお申込になります。下記の申込書式を記入の上、ファックスを送信願います。受付後確認のファックスを致します。

支払方法 受講案内を送付致しますので、受講案内が届いた後お振込み願います。

問合せ先 お茶の水ケアサービス学院 TEL 03-3863-4000

ファックス 03-3863-4006

お名前	フリガナ	役 職	ネット配信の 加入の有無	有・無
		事業所名		
住 所	(〒 -)	(事業所・自宅)		
TEL		FAX	e-mail	

※お申し込み後(お申し込み日を1日目とします)、7日目以降のキャンセルについては、お振込前でも受講料の半額のキャンセル料がかかります。また、お申し込み日にかかわらず10/4以降は、受講料の全額のキャンセル料がかかりますのでご注意ください。※キャンセルのご連絡がない場合は、キャンセル扱いにはなりませんのでご注意ください。